

第七十四回 昭和十四年度一般會計歳出ノ財源ニ
帝國議會 充ツル爲公債發行ニ關スル法律案 特別委員會議事速記録第三號
貴族院

昭和十四年二月二十三日(木曜日)午前十時十九分開會

○委員長(子爵高橋是賢君) 是ヨリ會議ヲ

開キマス、大藏大臣ハ衆議院ノ方ニ出ラレテ、ソレガ濟ミ次第此方ニ御出デニナルサウデアリマスカラ、御承知ヲ願ヒマス御諮リ致シマスガ、今大藏次官方御見エニナリマシタケレドモ、新シク御質問ノ前ニ、昨日藤原委員及び西野委員カラ御質問ガアツタコトニ付キマシテ、理財局長方御見エニナッテ居リマシテ、御發言ヲ求メテ居リマスカラ、之ヲ許シタイト思ヒマス

○政府委員(相田岩夫君) 昨日藤原サンカラ國債ノ發行ノ手數料ノコトニ付テ御尋ガ

ゴザイマシタガ、御答ヘ申上ゲマス、日本銀行ノ引受、預金部ノ引受、ソレカラ國債引受殘ノ引受ニ依ル部分ニ付テハ、發行手數料ヲ出シテ居リマセヌノデアリマス、尤モ國債引受殘ハ、事變當初アノ一億ヲ出シタダケデアリマシテ、其ノ後ハゴザイマセヌデゴザイマスガ、近頃ノ分ハ全部日本銀行引受或ハ預金部引受トナッテ居リマスガ、是ハ發行手數料ハ出シテ居リマセヌデゴザイマス、ソレカラ日本銀行ノ引受ケマシタ

モノノ中デ郵便局賣出ニシマスルモノニ付キマシテハ、郵便局ノ方ニ手數料ヲ出シテ居リマスガ、是ハ一枚ニ付テ五錢、ソレカラ券面額百圓ニ付キマシテ二十五錢ト云フ割合デ手數料ヲ出シテ居リマス、是ハ遞信省ノ方ニ今ノ割合デ出シマシテ、遞信省ノ方デソレヲ適宜郵便局ノ方ニ分配シテ居ル譯デゴザイマス、ソレカラ日本銀行ニ引受ヲ求メマシタモノノ中デ、有價證券引受業者ニ賣捌ヲサセルモノガゴザイマスガ、其ノ方ハ賣捌券面額百圓ニ付キマシテ八錢ノ割合デ手數料ヲ出シテ居リマス、藤原サンノ御質問ニ對シテハ以上御答ヘ申上ゲマス、ソレカラ西野サンノ御質問ニ對シマシテ昨日甚ダ説明ガ不十分デゴザイマシテ、御詫ビヲ申上ゲルト共ニ改メテ御答ヲ申上ゲマス、此ノ差上ゲマシタ資料ノ昭和九年度以降新規公債豫定額及發行濟額調、此ノ表ノ括弧ノ中ニアリマスル數字ニハ、矢張り前年度カラノ繰越額ハ含ンデ居ラナイノデアリマス、ソレデ昨日御尋ノゴザイマシタ十二年度ノ此ノ發行豫定額ハ、前年度カラノ繰越分ヲ入レマスト云フト三十三億九千六百三十七萬六千圓ト相成ッテ居リマス、サウ

シテ此ノ發行濟額ノ二十二億三千萬圓ノ中デ、發行豫定分ニ對シマスルモノガ二十二億二千三百八十三萬一千圓デゴザイマシテ、外ニ差減補填ノ爲ノモノガ六百十六萬八千圓デゴザイマスルノデ、ソレヲ兩方合セマシテ二十二億三千萬圓ト此ノ表ニアル數字ニ相成ルノデゴザイマス、ソレデ十二年度ノ發行豫定殘額ハ十一億七千二百五十四萬五千圓ニ相成ルノデアリマスルガ、其ノ中デ不要打切ト致シマシタモノガ二億三千七百八十九萬圓デゴザイマシテ、殘リノ九億三千四百六十五萬四千圓ト云フモノガ十三年度ニ繰越サレマシテ、十三年度ノ發行豫定總額ハ、此ノ表ニアリマスル數字ニ今申上ゲマシタ九億三千四百六十五萬四千圓ト云フモノヲ加ヘテ載キマセスト、其ノ全體ノ豫定額ガ出テ來ナイ譯デゴザイマス、左様御了承ヲ願ヒマス、ソレカラ河田サンカラ、小額ノ國債ノ相場ガ下落シテ居ラナイカドウカト云フ御尋ガゴザイマシタガ、十圓券ハ御承知ノヤウニ發行價格ガ九圓八十錢デゴザイマスルガ、郵便局デ買上ゲマシテハ手數料十二錢ヲ徴シマスルノデ、賣却スル人ノ手取ハ九圓六十八錢ト相成ル譯

デアリマス、之ニ對シマシテ市中ノ證券業者ノ買入値段ハ、普通九圓七十錢位ニナッテ居ルサウデゴザイマスガ、尤モ小サナ證券業者ヤ何カデ叩イテ買フト云フヤウナモノモ時ニアルサウデアリマスルガ、サウ云フコトノナイヤウニ有價證券引受業者ノ方ニ能ク依頼ヲ致シマシテ、餘リ郵便局カラ公債ヲ買ツタ者ニ損ヲサセナイヤウニ、必要ナ場合ニハ買ツテヤルヤウニト云フ風ニ注意ヲ致シテ居ル次第デゴザイマス、以上御答致シマス

○西野元君 只今政府委員ヨリ御説明ノアリマシタ點ニ付テ一二伺ヒタイト思ヒマスガ、最後ノ御話ノ、郵便局デ賣出シタモノヲ郵便局デ買フ場合ノ手數料ト云フ御話ガゴザイマシタガ、ソレハドウ云フ性質ノモノニナッテ居ルノデアリマセウカ、賣ル人カラ申セバドウ云フ名儀デアッテモソレダケ差引カレルカラ、手取りノ問題トシテハ同ジモノデアリマスガ、手數料ト云フコトハ政府デ何カ買上ゲル爲ニ手數料ヲ徴スルト云フコトデ、ソレハ結局遞信省ノ收入ニ屬スルト云フモノデアリマセウカ、手數料ト云フモノハドウ云フ意味デアリマスカ、チヨッ

ト了解シ兼ネマスガ……

○政府委員(相田岩夫君) ソレハ收入ト致シマシテハ、通信特別會計ノ收入ニナル譯デアリマス

○西野元君 ソレハ何カ公債所有者ノ便宜ヲ圖ル爲ニソレヲ買上ゲルト云フコトデ何カ特別ノ費用ガ要ツテ、ドウシテモソレダケノモノヲ「チャージ」シナケレバナラヌト云フヤウナ計算ニデモナル問題デアリマスカ、政府ガ公債ヲ買上ゲテヤルト云フノニ又手數料ヲ徴スルト云フコトガ、チョット常識上考ヘラレナイ氣モ致シマスガ、無論多少ノ手數ハ掛カラウト思ヒマスケレドモ、一枚ニ付デアリマスカ百圓ニ付デアリマスカ、ソレハチョット伺ヒ漏シマシタガ、十二錢ノ手數料ヲ取ルト云フコトハ、何トカ改良ノ餘地ハナイモノデアリマスカ

○政府委員(相田岩夫君) 今申上ゲマシタ手數料ノ十二錢ト申シマシタガ、是ハ券面金額ニ依リマシテ色々差等ヲ設ケテアリマス、十圓券ニ付テハ十二錢ト云フモノヲ現在取テ居ルノデゴザイマス、之ヲモウ少シ安クシマシテ、證券ヲ持ッテ居ル者ノ便宜利益ヲ計ッタ方ガ宜クハナイカト云フ御意見デゴザイマシテ、誠ニ御尤ノ御意見ト存ジマスルガ、實ハ此ノ郵便局デ賣出シマスル時

ニ手數料ヲ先程申シマシタヤウニ一通ニ付テ五錢、百圓ニ付テ二十五錢ト云フ割合デ既ニ出シテ居リマス、是ヨリモ安ク買上ノ手數料ヲ渡シマスと云フト、詰リ郵便局ガ賣ッテコトニシテ又買上ゲタコトニシマスと云フト、其ノ手數料ノ差額ダケ郵便局ガ儲カルト云フヤウナコトニナリマシテ、本當ニ賣捌ヲヤツテ呉レナイト云フヤウナ虞モゴザイマスルシ、ソレカラモウ一ツ郵便局カラ賣出ス場合ニハ、賣出期間中ノ經過利息ト云フモノハ見テ居ラナイノデアリマス、見テ居ラナイト申シマスノハ、詰リ經過利子ヲ見ナイ計算デ以テ賣ルノデアリマス、賣出期間ノオ終ヒノ方ニ買ヒマスと云フト、其ノ賣出期間中ノ經過利息ダケハ買受人ノ利益ニナルノデゴザイマス、ソレデ此ノ買上手數料ヲ非常ニ安クシマスと云フト、賣出期間ノ終リノ頃ニナリマシテ、澤山郵便局カラ公債ヲ買ッテ直グニ賣ルト云フト、其ノ經過利子ノ點デ稼グト云フヤウナ弊害モ考ヘラレマスノデ、尙、現在ニ於キマシテハ斯ウ云フ買上ノ手數料ニナッテ居ル次第デゴザイマスガ、何トカ之ヲモット公債ヲ郵便局カラ買入レマシタ者ノ利益ニナリマスルヤウニ方法ヲ考ヘタイト思ッテ居ル次第デゴザイマス

○西野元君 私ハ先日御願ヒ致シマシタ表ニ付テ先刻御説明ガアリマシタノデスガ、此ノ公債ノ各年度ニ於ケル公債發行濟額モ、又特ニ當該年度ノ豫算ニ屬スルモノダケヲ何カ御舉ゲニナツタヤウナ風ニ伺ヒマシタノデ、發行濟額ノ方ハ私ハ當然其ノ年ノ何時ノ分デアッデモ、其ノ年ニ現實ニ發行サレタモノガ載セテアルカト考ヘマシタガ、實際ノ發行濟額ハ此ノ各年ノ所ニ書イテアリマスルモノヨリモ増加シテ居ルト云フコトニナッテ居リマセウカ

○政府委員(相田岩夫君) 此ノ發行額ハ實際ノ發行額デゴザイマス、唯先程申上ゲマシタヤウニ此ノ中ニ豫定額ニ對スル分ト、差減補填ニ關スル分トガ少シ入ッテ居リマス

○西野元君 サウ致シマスと前年度カラ繰越シタモノヲ發行シタモノハ、無論此ノ中ニ入ッテ居リマスカ

○政府委員(相田岩夫君) 入ッテ居リマスデゴザイマス

○河田烈君 今政府委員カラ西野委員ノ御質問ニ御答ニナツタ所ヲ伺ッテ見マスルト、此ノ郵便局賣出ノ國債ノ手數料ト云フノハ、唯其ノ手數ガ掛カルト云フ事務費ト云フ意味ヨリハ、外ノ意味ガ入ッテ居ルヤウニ

○政府委員(相田岩夫君) 賣出シノ手數料ハ、詰リ國債整理基金ノ方カラ出ル譯デアリマス

○河田烈君 サウスルト何年カ期限ハ忘レマシタガ、満期ニナッテ償還ヲ受ケレバ九圓八十錢ノ割引ノ利廻ヲ得ラレルケレドモ、送中デ買ッタ時ハ九圓六十八錢デ割引イテ買ッタト云フコトニナル譯デスネ

○政府委員(相田岩夫君) 買ッテ間モナク郵便局ニ又買上ゲテ貰ヒマスレバ、サウ云フコトニナル譯デス

○藤原銀次郎君 只今ノ政府委員ノ御話デモウ少シ了解ガ出來ナイコトガアリマスノハ、此ノ百圓券ヲ郵便局カラ賣出ス時ハ二十五錢ノ手數料ヲ拂フ、ソレカラシテ之ヲ郵便局デ民衆カラ買上ゲル時ニハ十二錢ノ手數料ヲ取ル、斯ウ云フ御話ハ了解ガ出來マスガ、二十五錢手數料ヲ貰ッテ郵便局ガ

○政府委員(相田岩夫君) 買ッテ間モナク郵便局ニ又買上ゲテ貰ヒマスレバ、サウ云フコトニナル譯デス

○藤原銀次郎君 只今ノ政府委員ノ御話デモウ少シ了解ガ出來ナイコトガアリマスノハ、此ノ百圓券ヲ郵便局カラ賣出ス時ハ二十五錢ノ手數料ヲ拂フ、ソレカラシテ之ヲ郵便局デ民衆カラ買上ゲル時ニハ十二錢ノ手數料ヲ取ル、斯ウ云フ御話ハ了解ガ出來マスガ、二十五錢手數料ヲ貰ッテ郵便局ガ

ソレヲ賣ッテカラ、自分デ買フ時ニハ、買上
ゲル時ニハ十二錢デアリマスカラ、自分デ
貰フ二十五錢ト十二錢トノ其ノ差ト云フモ
ノハデスネ、今理財局長ノ御話ニ依リマス
ト、郵便局が自分デ賣ッタコトニシテ又買ッ
タコトニスルト云フト、其ノ手數料ダケノ
郵便局ノ利得ニナルト云フヤウナコトデヤ
困ルカラシテ、ソコデ此ノ十二錢ノ手數料
ヲ郵便局ガ取ル、サウ云フコトノナイヤウ
ニスルノダト、本來ヲ言ヘバ民衆カラ買上
ゲル時ニハ手數料ナド取ラズニ、政府ノ仕
事デアリマスカラ、成ルベク公債ヲ持ッテ居
ル人ノ爲ニ利益ニナルヤウニ、手數料ナド
ハ取ラズニ買上ゲルノガ、當リ前ダケレド
モ、郵便局ガ一度賣ッテ又買ッタト云フヤウ
ナコトヲスルト困ルカラ、ソレヲ妨グ意味
モアツテ、旁、十二錢ノ手數料ヲ取ルト云フ
ヤウナ、斯ウ云フ風ナ御説明ノヤウニ承ル
ノデスガ、若シサウダトスルト二十五錢ト
十二錢トノ間ノ、此ノ差ヲ御付ケニナツタ
ト云フノハドウ云フ譯デアリマスカ、矢張
リ二十五錢トノ間ノ差ガアルト、ドウシテ
モサウ云フ勘定ガ出テ來ハシナイカト思フ
ノデスガ、其ノ點ドウ云フコトニナリマセ
ウカ

○政府委員(相田岩夫君) 先程申上デマシ

タ百圓ニ付二十五錢ト申シマスノハ、一枚
ニ付五錢、百圓ニ付二十五錢ト申上デマシ
タノハ、遞信省ヘコチカラ拂ヒマス割合
ナンデアリマシテ、遞信省ノ方カラ又更ニ
郵便局ニ對シマシテ、之ヲ色々ナ標準以
テ交付致シテ居ルノデゴザイマス、十圓券
ニ付テ申シマスルト云フト、十圓券ニ付テ
ハ今ノ一枚ニ幾ラト云フ標準ト、百圓ニ付
テ幾ラト云フ標準ヲ兩方合セマシテ、七錢
五厘拂ッテ居ルノデゴザイマス、ソレデ買上
ノ方ハ十二錢ト斯ウ云フコトニナリマス
○河田烈君 此ノ郵便局ノ問題デゴザイマ
スガ、郵便局カラ購入シタ所ノ國債ヲ郵便
局ニ賣ッタ場合ニ、マア同額ノ金額デ以テ又
現金ニ替ヘテ購入スルト云フコトヲ宣傳ト
言ヒマスカ、廣告ヲサレテ居ルノデスカ、
實際ハ十二錢ノ手數料ヲ取ラレテ居ルノデ
アリマスカ、ソレハ兎モ角トシテ其ノ郵便局
デ購入シタ國債ハ、直チニ國債整理基金特
別會計デ處理スルノデアリマスカ、購入シ
タ後ハドウ云フ手續ニナルノデスカ
○政府委員(相田岩夫君) 實際ノ手續問題
ト致シマシテハ、預金部デ買ッテ貰ッテ居リ
マス

○藤原銀次郎君 今ノ御話ヲモウ少シ……
十圓券ヲ一枚ニ付テ五錢宛ノ口錢ヲ御拂ヒ

ニナリマス、百圓ニ付テ五十錢御拂ヒニ
ナル譯デアリマスカ、ソレヲ今度御買上ニ
ナル時ハ百圓ニ付キ十二錢ノ手數料ヲ御取
リニナリマスカラ、サウスルト、三十八錢
ト云フモノダケハソコニ差ガ出來ルカラ、
郵便局トシテ、三等郵便局トシテハ、十圓
券ノヤウナ小サナモノヲ自分ガ賣ッタコト
ニシテ、又自分ガ買ッタコトニシテ、唯勘定
スレバ、居ナガラニシテ三十八錢ダケノ利
得ガアル、斯ウ云フ風ナ勘定ニナルヤウニ
チョット聞エルノデスガ、サウ云フコトデゴ
ザイマセウカ
○政府委員(相田岩夫君) 申上デガ方足り
マセヌデ甚ダ……郵便局ガ實際受取りマス
手數料ハ、一枚幾ラト云フコト百圓ニ付二
十五錢ト云フノヲ兩方合セマシテ、實際ノ
所ハ百圓券ニ付テ申シマス云フト、二十
二錢五厘郵便局ガ受取ルコトニナツテ居リ
マス、サウシテ買上ノ手數料ハ三十錢デア
リマス、買上ノ手數料ハ十圓ハ十二錢、二
十五圓ガ十五錢、五十圓ガ二十五錢、百圓
ガ三十錢、五百圓ガ八十錢、千圓ガ一圓五
十錢、斯ウ云フ風ナ色々差等ヲ設ケマシテ、
一方賣却ノ手數料モソレヨリ低イ金額デスッ
ト差等ヲ設ケテ居リマスノデ、郵便局ガ其
ノ差等ヲ儲ケルコトハ……買上手數料ノ方

○政府委員(相田岩夫君) 申上デガ方足り

ヲ高ク致シテ居リマスカラ、郵便局ト致
シマシテハ賣ッテ又買ッタコトニ致シマス
云フト、結局賣ッタ手數料ヨリモ、賣ッタ場
合ニ貰フ手數料ヨリモ、買上ゲテ貰フ時ノ
手數料トシテ餘計ノ金額ヲ拂ハナケレバナ
ラヌヤウニ、其ノ率ヲ決メテアリマスノデ、
賣ッテ又買入レタコトニシテ手數料ノ差額
ダケヲ儲ケルト云フヤウナコトハ、實際起
キナイヤウニナツテ居リマス
○藤原銀次郎君 能ク御趣意ハ分リマス
ガ、數字ガチョット分リ兼ねマスノデスカ
ラ、之ヲ例ヘバ五十圓券ニ致シマシテ、私
ガ十圓券ヲ郵便局カラ買ヒマス時ニハ、郵
便局ハ其ノ十圓券一枚ニ付テ幾ラノ手數料
ヲ御取りニナリマスカ、又ソレヲ郵便局ヘ
十圓券ヲ賣リニ參リマシタ時ニハ、郵便局
デドレダケノ手數料ヲ御取りニナリマスカ、
ソレヲ承リタイ、十圓券ト五十圓券ト二枚
ニ假定シテ、此ノ場合ニ十圓券一枚ニ付テ
郵便局デ幾ラノ手數料ヲ取ルカ、五十圓券
一枚ニ付テ幾ラノ手數料ヲ取ルカ、ソレヲ郵
便局ニ賣リニ行キマシタ時ニハ幾ラノ手數
料ヲ御取りニナリマスカ、此ノ十圓券ト五
十圓券ノ場合ヲ假定シテ數字ヲ承レバ一番
能ク分ルト思ヒマス
○政府委員(相田岩夫君) 十圓券ノ場合ニ

○政府委員(相田岩夫君) 十圓券ノ場合ニ

於キマシテハ、先程チョット間違ヒマシテ、七錢五厘ト申上ゲマシタガ、七錢デゴザイマス、郵便局ハ十圓券一枚賣リマスト云フト七錢ノ何ト申シマスカ、慰勞金ヲ貰フ譯デアリマス、ソレデ十圓券一枚買上ゲマス場合ニハ、……今ノ慰勞金ヲ貰ヒマスノ

ハ、結局國債整理基金ノ方カラ廻ッテ行ク譯デアリマスガ、十圓券一枚ヲ買入レマス場合ニハ、其ノ賣却人カラ十二錢ノ手数料ヲ郵便局ハ取ル譯デゴザイマス、ソレカラ五十圓券ノ場合ニ於キマシテハ、一枚賣リマスト云フト七錢五厘郵便局ハ其ノ慰勞金ヲ貰ヒマス、ソレカラ買上ゲマス時ニハ、其ノ賣却シタ人カラ二十五錢ダケ買上

ノ手数料ヲ取リマスノデアリマス
○藤原銀次郎君 能ク分リマシタ、サウ致シマスト云フト結局十圓券ヲ郵便局ガ民衆ニ賣ッテ、サウシテ更ニ又民衆カラソレヲ買上ゲタト云フコトニナリマスト云フト、政

府ノ方カラハ一枚ニ付テ七錢、民衆ノ方カラハ一枚ニ付テ十二錢、合計十九錢ト云フモノガ郵便局ノ收入ニナルト思ヒマスガ、サウ云フ風ニ諒解シテ宜シウゴザイマスカ
○政府委員(相田岩夫君) 今ノ十二錢ハ詰リ其ノ賣捌ニ當ル郵便局ノ收入ニ……、十二錢ノ方ハ通信事業特別會計ノ收入ニナル

ノデゴザイマス、其ノ賣捌ニ當ル者トシテハ、ソレガ自分ノ收入ニナルノデハナイノデアリマス、初メノ賣捌ノ時ノ手数料ハ郵便局ガ貰フノデアリマスケレドモ、買上ノ手数料ノ方ハ詰リ通信會計ノ方ニ入ッテシマフ譯デアリマス

○藤原銀次郎君 サウ致シマスト十二錢ノ買上手手数料ハ、例ヘバ三等郵便局デソレヲ取リマシテ、サウシテソレヲ通信會計ノ方ヘ納入スル譯デゴザイマスカ
○政府委員(相田岩夫君) 左様デアリマス

○藤原銀次郎君 三等郵便局ノ收入ニハナラナイノデアリマスカ
○政府委員(相田岩夫君) ナリマセヌ

○男爵深尾隆太郎君 チョット關聯シテ居リマスガ、同額ニ迄下ゲテモ差支ナイヤウニ思ヒマスガ、經過利息ノ方デソレデハ

餘リウマ過ギルト云フコトニナリマスカ、其ノ買上ノ時モ七錢デ買上ゲテモ損得ナシデスカラ、郵便局ハ徒ニサウ云フ手数料スルノハイヤダカラ、實際賣ッテ、實際買戻シニ來タ者デナケレバ取扱ハナイコトハ明カデアリマスカラ、國債所有者ノ負擔ヲ輕減スル意味ナラバ、買上ゲタ七錢デ宜ササウニ思フガ、十二錢ト云フコトニナッテ居ルノハ、外ニ今ノ賣出期間中ノ經過利息カラ勘

定シテ、若シ極ク遅イ時デアッタラ七錢デ買戻シテ不當ノ利益ヲ與ヘルト云フ計算ニナリマスカ、ソレヲ承リマス
○政府委員(相田岩夫君) 只今ノ仰セノ通りデアリマス

○藤原銀次郎君 其ノ御趣意ハ分リマシタガ、私共ノ聞ク所ニ依リマストデスネ、十圓券トカ、五十圓券トカ、三十圓券トカ云

フ小額ノ公債ガ、ドウ云フ風ニ出テ居ルカ、私ハ實際ノ事ヲ知ラナイデ、誠ニ恥カシイ質問ヲ致シマスヤウデスガ、私ノ聞ク所ニ依リマスト云フト、先達テ御賣出ニナリマシタ時ニハ、小額ノ公債ト云フモノハ、買ヒニ行ッテモ殆ド各郵便局デ……ソレハ私ハ全體ヲ調べタ譯デアリマセスカラ分リマセヌガ、我々ノ土地ノ地方ノ郵便局ナドデハ殆ド無カッタ、手ニ入ラナカッタト云フコトヲ聞イテ居リマス、斯ウ云フ風ナ口錢ノ分配ノ仕方デアリマシタナラバ、小額ノ方ノ公債ハ自然何處カヘ固ッテシマッテ、政府デオヤリニナルノダカラ、斯ウ云フコトノ懸念ハナカラウト思ヒマスケレドモ、大キナ方ノ

手数料ヲ御儉約ニナッテ、サウシテ小サイ方デハ政府ノ利得ガ兎ニ角十圓券一枚ニ付テ十二錢ヅツデスカラシテ、百圓ニ付テ一圓二十錢、一圓二十錢ダケ政府ガ通信會計ニ於テ

利得ヲ御取リニナル譯デアリマス、サウ云フ風デスナ、十圓デ十二錢デスカラ、百圓デ一圓二十錢、ダカラシテ百圓ノ公債ヲ政府ガ買上ゲル時ニ一圓二十錢ノ逓信省ノ口錢ト云フモノハ、通信會計ガ少シ餘計ニ御取

リニナリ過ギルト思ヒマスガ、ソレデコナラノ方デ、例ヘバ日本銀行カラ賣出ス時ニハ百圓券ニ付テ八錢トカト云フヤウニ手数料ヲ御拂ヒニナッテ、自分ノ方デ御取リニナル時ハ一圓二十錢ノ手数料ヲ御取リニナルト云フコトハ、ドウモ政府ノ商賣デアリマスカラ、政府ガ餘計御取リニナルノダカラ、我々トシテソレニ疑ヲ有ツコトハナイガ、ドウモ金額ガ少シ多過ギヤシナイカ、自分デ御拂ヒニナル時ハ八錢シカ百圓券ニ付テ

ノ手数料ヲ出サナイデ、日本銀行ノ倍デスナ、サウシテ收入ノ時ニハ、百圓券デ一圓二十錢ノ收入ヲ取ルト云フノダカラ、少シ釣合ハナイヤウニ思フガ、少シ理論ノヤウニナルト思ヒマスガ……

○政府委員(松村光三君) 今藤原サンカラ御尋デアリマシタガ、成程證券業者ガ日本銀行カラ百圓券ニ付テ八錢ト云フト、少シ手数料ノ釣合ガ安過ギハシナイカト云フコトハ、證券業者ハ御承知ノ通り、大體證券業者ノ扱ヒマスルモノハ、扱フ金額モ大體大

キクアリマスモノデスカラ、八錢ガ少イカ
多イカト云フコトニ付テハ嚴密ニ言フト、
各國ノ公債ノ手數料ニ比較致シマスルナラ
バ尙研究調査ノ餘地ガアルト思ヒマスガ、
要スルニ取扱額ガ非常ニ大キイノガ原則デ
アリマスノデ、ソレデ假ニ百圓ニ付テハ錢
ノ手數料デアリマシテモ、證券業者ハマア
相當トハ言ヘマセヌデセウケレドモ、此ノ
程度ノ手數料ヲ以テ爲シ得ルノデス、之ニ
反シテ郵便局ノ方ノ扱ヒマスルノハ、非常ニ
券面ガ小サイモノデスカラ、ソゴデ從ッテ手
數料ガ、郵便局ニ逕信省ノ拂フ手數料モ又
買上ゲル手數料モ、自然ニ高クナッテ居ルヤ
ウナ譯デアリマシテ、非常ニ一見矛盾シテ
居ルヤウニ見エマスケレドモ、ソレハ郵便局
ノ取扱フ額ノ大小ガ非常ニ關係ガアルト思
ヒマス、併シ御説ノ通り郵便局ガ買上ゲル時
ニ十二錢ヲ取ルト云フコトハ、通信特別會計
ノ取り方ガ多過ギハシナイカト云フコトニ
付キマシテハ、是ハ世間ニモドウモ政府ハ公
債ヲ何時デモ買上ゲルト云フコトヲ言ウテ居
ルニモ拘ラズ、何ンダカ澁ルノデヤナイカト
云フヤウナ誤解モ亦與ヘル多少ノ原因ニモ
ナリハシナイカト思ハレマス、併シ尙此ノ
問題ハ逕信省其ノ他トモ能ク協力シ打合セ
マシテ、十二錢ノ問題ニ付キマシテハ尙十

分一ツ研究致シマシテ、政府トシテハ出來
ルダケ是ノ買上ゲニ便宜ヲ與フルト云フコ
トモ亦公債頒布ノ一ツノ方法ト考ヘラレマ
スノデ、是ハモウ一應十分ナ研究ヲ遂ゲテ
見タイト思ヒマスガ、併シ只今申上ゲマシ
タ通り唯手數料ヲ直グ比較シマスルト、非常
ニ不權衡ガアルヤウニ思ハレマスケレドモ、
ソレハ取扱ノ金額ガ非常ニ違フ、片ッ方ハ十
圓トカ二十圓トカ五十圓トカ云フ少サイモ
ノヲ賣ッカリ買ッカリスルコトガ多イノニ、
片ッ方ハ百圓ニ付テハ錢ト申シマシテモ、其
ノ取扱フ額ハ何萬圓トカ或ハ何十萬圓トカ、
大體證券業者ガ扱フモノハ比較的大キイカ
ラシテ、ソレ等ノ點ニ付テ尙十分研究ノ餘
地ガアルヤウニ思ヒマスノデ、十分研究シ
テ見タイト思ヒマス

○藤原銀次郎君　モウ御趣意ハ能ク分リマ
シタケレドモ、其ノ小額ノ公債ハ矢張り一
般ノ民衆ノ貯蓄獎勵ノヤウナ意味、及ビー
般民衆ヲシテ此ノ時局ニ貢獻セシメヨウト
云フヤウナ、大衆ヲ目的ニシテ御ヤリニナ
ル小額公債ダト思フノデアリマスガ、大衆
カラ百圓ニ付テ一圓二十錢ノ手數料ヲ政府
ガ御取りニナルト云フコトハ、是ハ其ノ中
流者……金持ノ階級カラ澤山御取りニナル
ト云フコトデアレバ、是ハ我慢モ出來マス

ケレドモ、金持デナイ比較的細民ノ方ノ階
級ニ公債ヲ持タセテ、ソレヲ買上ゲテヤル
時ニ、政府ガ百圓ニ付テ一圓二十錢ノ手數
料ヲ取ルンダト云フコトデアリマシタナラ
バ、少シ理論的ニ考ヘテモ、民衆ニ對シテ
ノ政府ノ御處置トシテハチョット受取りニク
イヤウナ感じモ致シマス、マアチョット今手
數料ノ問題ヲ此處デ伺ッテ見テ、唯チョット
ソシナ感じガ致シマスカラ、ソレダケヲ申
上ゲテ置キマス、更ニ此ノ手數料ノ問題ニ
關聯シテ考ヘマスト云フト、私ハ此ノ日本
銀行カラ證券業者ニ御拂ヒニナル八錢ハ、
少シ少ナ過ギルヤウニ思フ、是ハモウ少シ
御奮發ニナッテ、サウシテ證券業者ヲモウ少
シ活躍セシメテ、サウシテモット各證券業者
ガ各會社ノ事務所ニデモ出張シテ行ッテ、月
給日ニ此ノ公債ヲ御持チナサイトカ、ボー
ナスヲ貰ッタ時ニ公債ヲ之デ御買ヒナサイ
トカ言ッテ、ドン／＼活躍デモシテ、サウシ
テ行クヤウナ工合ニ、モット證券業者ノ活躍
ヲスルダケノ費用ヲ御拂ヒニナッテヤリマシ
タナラバ、モウ少シ其ノ公債ノ應募者ト云
フモノハ殖エテ來ルンデヤナイカ、法律デ
ビシヤット斯ウ幾ラ、給料ノ何割ヲ持テナ
ント云フコトヲ言ハヌデモ、證券業者ニモ
ウ少シ働カセレバ、モット非常ニ效果ガ上ル

ノデハナイカト云フ氣ガ致シマスガ、是ハ
理論ニナッテ質問デハアリマセヌガ、五十圓
券ニ付テ二十五錢デアリマスカラ、百圓ニ
付テ五十錢ノ手數料ヲ御取りニナル、十圓
券ハ百圓デ一圓二十錢ノ手數料ヲ御取りニ
ナル、此ノ邊ハ政府ガ御考ニナッテ此ノ金額
ニ差等ヲ御付ケニナッタノグラウト思ヒマス
ガ、私共ノ考カスレバ、政府ガ十圓券ヲ
買上ゲル時ニ無手數料デ買上ゲテヤル、手
數ハ餘計掛ルケレドモ細民……一般民衆ニ
對シテノコトデアリマスカラ、民衆ニ百圓
ノ公債ヲ持タシテ一圓二十錢ノ政府ガ手數
料ヲ取ルト云フコトハ、少シ殘酷デアルト
思ヒマスカラ、其ノ邊ヲモウ一遍何カ機會
ガアリマシタナラバ御再考ヲ願ヒタイ、斯
ウ云フマア私ノ希望ヲ述ベマシテ御參考ニ
致シマス

○政府委員(松村光三君)　今ノ買上ノ手數
料十二錢ノ問題ニ付キマシテハ、政府ガ必
ズシモソレニ依ッテ特別會計ニ利得ヲシヨ
ウト云フヤウナ考ハ毛頭ナイノデスケレド
モ、尙能ク調査ヲ進メタイト思ヒマス、ソ
レハモウ證券業者ニ關スル問題ハ、私ノ記
憶ガ間違デナケレバ、最近證券業者ニ關ス
ル問題ヲ多分一回ダケデシタカヤッタノデ
ス、今ノ御話ノヤウニ公債ヲ頒布スルト云

フコトニ付テハ、斯ウ云フ専門業者ヲ自由自在ニ活躍セシムルコトモ、各國ノ實例ニ依ツテハ必要ナル施設ト思ハレマスルノデ、尙證券業者ヲ將來十分一ツ利用スルと言フカ、活躍サセルト言フカ、サウ云フヤウナ方策ニ付キマシテ、尙一段ト御説ノ通り考慮ヲ進メテ参リタイト思ッテ居リマス

○河田烈君 今藤原委員ノ御意見、御質問ノ意味ノ、前段ノ郵便局ノ賣出シノ公債ノ買戻シノ手数料ニ關スル點ニ付キマシテハ、私モ感シカラ言ッテ同感デアリマスガ、ソレニ付テ政府ニ於テ色々御考究下サヘマズレバソレデ宜イノデアリマスガ、假ニ郵便貯金ヲ致シマスレバ、ソレハ其ノ儘右カラ左ニ同額ノ拂戻ヲ致サレテ、經過スル間ハ郵便貯金ノ利子ガ附イテ來ル譯デス、茲ニ假定ヲ設ケマシテ其ノ郵便貯金ヲ引出シテ公債ニ向ケルト、ソレヲ現金ニ換ヘルト云フ時ニ減ッテシマフト云フコトニナルト思ヒマス、ソレハ稍、ワカシイヤウナ氣ガ致シマスガ、併シ斯ウ云フコトモ言ヘマセウ、イヤ郵便貯金ヲ下シテ公債ヲ買フノデナク、郵便貯金以外カラ公債ヲ買ッテ貰ヒタイト云フコトモアリマセウガ、郵便貯金ノ方ノ制限ハ二千圓デ、二千圓以上ニ銀行預金ヲ有ッテ居ル人ハサウ云フ零細ナ額面ノ

公債ヲ買ッテ貰ハヌデ、モット當リ前ノ公債ヲ有ッテ貰ッタ宜イノダ、普通ノ證券ヲ買ッタ宜イノダ、處ガ公債ノ額面ヲ小サクスルト云フコトハ、郵便貯金ヲスルヤウナ程度ノ零細ナ資金ヲ集メルト云フ所ニ趣旨ガアルノダラウト思ヒマス、ソレガ但シサウ云フモノヲ銑後ノ國民トシテ、國家ノ爲ニ國債ニ俟ツ、昨日伺ッタ通り殊ニ小額債券ハ支那事變公債ニ限ラレテ居リマスカラ、支那事變ト云フコトヲ主トシテ居ルノデアリマセウガ、其ノ場合ニ郵便貯金ヲ下シテ應募シテハ損ニナルト云フヤウナヤリ方ハ如何カト思ヒマス、郵便貯金ガウント殖エテ、郵便貯金……預金部デ公債ヲ起セバ宜シイノデス、殊ニ今郵便貯金ノ平均ハ多分七十圓前後ト伺ッテ居リマス、デスカラ郵便貯金ニ於テ皆ガ二千圓ヲ有ッテ居ルト云フコトハ、想像ハ出來ナイノデスカラ、零細ナ資金ヲ支那事變ノ國債ニ俟ツト云フコトハ、是ハ一ツニハサウ簡單ニハ行カナイノデ、一種ノ「アヂデーション」ト言ヒマスカ、愛國心ニ訴ヘル、是ハ少シ學究的ニナルケレドモ、公債ノ額面ヲ小サクスルト云フコトモ、今日ノ他ノ事情ヲ考ヘナケレバナラス、國民ノ愛國心ヲ刺戟スル爲ニサウ云フ方法ヲ執ラレタノデセウガ、其ノ點ヲ考

慮スル必要ハナイカ、ソレ迄ニシテ小額債券ヲ出シテ、ソレガ郵便貯金ニ預ケテ置ク方ヨリ損ニナル、ソレハ無論賣ラナケレバ損ニナラナイ、持ッテ居レバ宜イ譯デスガ、元々郵便貯金モ同様デ、右カラ左ニ現金ヲ返シテヤル、何レニシテモ直グ右カラ左ヘ現金ヲ出シテ行ケバ手数料ダケ損ヲスル、手数料ノ高ニ付テハ今色々理由ガアッテ出來ナイ、今藤原委員ハ多少高過ギルト仰シヤッタケレドモ、私モ多少考ガアリマスケレドモ、是ハ色々計算上ノ理由モアルダラウト思ヒマスケレドモ、何レニ致シマシテモ郵便貯金ヲ主ニシテ置クト云フコトヨリモ損ヲスルト云フヤリ方ハ、國民ノ愛國心ヲ唆ルト云フ意味カラ云ッテ考フベキ餘地ガアリハセヌカ、殊ニ郵便貯金ヲ其ノ儘ニシテ置イテ、是ガ預金部ノ資金ニシテ、大キナ金ニシテ放資セラレルト云フコトハ、自然零細ナル資金化、資本化ト云フコトハ寧ろ其ノ方ガ便利ナンデス、ソレヲ小額債券ニシテ郵便貯金ヲ安クスルト云フコトハ、國民ニ愛國思想ヲ鼓吹スルト云フコトヨリ起ッタト思ヒマスガ、ソレナラバ果シテ國ガ經費トシテ多少ノ犠牲ヲ拂ッテモ、是ハ矢張り國民ノ愛國心ヲ唆ル爲ノ經費デ以テ負ケテヤッテ宜イト云フ議論ニナルノデヤナ

イカ、其ノ邊ニ多少……少シ理窟ニナルケレドモ、理論的ニ矛盾シテ居ル政策デヤナイカト云フ氣ガシテ居リマス、是ハ意見ニナリマスガ、質問ニナラヌカモ知レマセヌガ、私ガ申上ゲルコトハ丁度此ノ問題ニ觸レテ考ヘテ居ルノデ、小額債券ノ發行高ノコトニ付テ昨日カラ御意見ヲ申シテ居リマスガ、多少其ノ點ヲ考究シテ見タイ考カラ申上ゲタ次第デアリマス

○政府委員(松村光三君) 河田サンノ御意見デスガ、郵便局ニ預ケタモノ一且引出シテ、ソレヲ公債ニ振替ヘルト云フコトデアリマス云フト、ソコニ色々御意見ガ出ルダラウト思ヒマス、併シ一遍郵便局ニ預ケタモノガ預金部ニ廻ッテ運轉サレル、結局大局的ニ言フナラバ、大乗的ニハ同ジコトナンデスケレドモ、併シ是ハ藤原委員カラモ屢、御話ガアリマシタ通りニ、政府トシテハ預金部ヲ通ジテ國債ヲ買フコトハ、大乗的ニハ結論ハ同ジナンデス、ケレドモ出來ルコトナラバ國民各階層ノ個人々々ニ、「フランス」ノヤウニ公債ヲ出來ルダケ廣イ範圍ニ持タセルト云フ國民性ヲ養フト云フコトモ非常ニ必要ナコトデアアル、サウシテ郵便局ニ預ケテ、公債ヲ買ッタト云フコト、或ハ自分ガ公債ヲ幾ラ持ッテ居ルト云フコ

トトハ、貯蓄ノ上カラ見テモ、又國民ノ氣持カラ言ウテモ、其處ニ幾ラカ個人々々ノ相違ヲ見サナケレバナラスト思ヒマス、理想トシテハ個人々々ニ公債ヲ持タセル方ガ宜シト思ヒマスケレドモ、今日迄ノ日本ノ狀態デハ個人々々ガ公債ヲ持ツノハ少クテ、郵便局ヲ通シ預金部ヲ通シテ持ツト云フ形ニナツテ居ル、ソコデ小額券ヲ出シマスレバ、自分ガ公債ヲ買ハウト思ッテ、郵便局ノ金ヲ引出シテ買ハウト云フコトノミナラズ、ソレヲ買フ爲ニ外ノモノニ浪費スルト云フカ、消費スルト云フ部分モ更ニ一層節約ヲシテ、サウシテソレガ爲ニ殊ニ支那事變公債ニ限ツタト云フコトモ、是ハ唯郵便局ニ貯金スルノデヤナイノダ、事變公債ヲ買フ爲ニ貯蓄スルノダト云フ新シイ氣分ヲ國民ニ與ヘルコトモアツテ、單ニ公債ヲ買ハセルト云フ趣旨ノミナラズ、二ツノ意味ニ於テ節約ヲセシメル、節約ヲヨリ多クセシムルト云フコトニモナリハシナイカト思ヒマスノデ、ソレヤ是ヤ併セテ茲ニマア小額面ト云フモノノ發行ヲヤルヤウナコトニナツテ居ルト思ハレマスノデ、唯、今其ノ間ニ於ケル所ノ利廻ノ相違ナドモアリマ스가、一方郵便貯金ノ最高額二千圓限度デハ少イデヤナイカ、之ヲモット引上ゲルト云

フ主張モ可ナリ是ハ強ク出テ居ル、此ノ問題ハ衆議院ナドデモ非常ニ問題ニナツテ居リマスノデ、二千圓ノ限度ヲ引上ゲル、之ヲ引上ゲレバ結局ハ預金部ヲ通ジテ公債ガ買ハレルノデ、結論ハ同ジコトデアリマ스가、引上ヲスルト云フ問題ハマダ決定セズニ從來ノ儘ニナツテ居リマス、ソレヤ是ヤヲ見合セマス、小額面ヲ發行スルコトハ、直チニ今ノ預金ヲ減ジテ買フト云フコトデモナケレバ、必ズ附帶ノ利益ハ少カラザルモノト考ヘマスノデ、色々ノ前後ノ關係ヲ見合セテ、斯ウ云フ工作ニ出テ居ルノデアリマス

○河田烈君 モウ松村政務次官ノ御話デ諒解致シマス、多少細カイ意見ニナルト、申上ゲマシテモ意見ノ相違ニナリマスカラ、之ニコダハルコトハ言ヒマセヌ、私ハ其ノ點ニ付テハ伺ヒマセヌガ、唯誤解ガアルトイケマセヌ、私ハ郵便貯金ノ制限額二千圓ヲ上ゲルト云フ考ヲ持ツテ居ルノデヤナイト云フコトハ申上ゲテ置キマス、ソレハ考究スベキモノダ、別問題デアリマス、斯ウ考ヘテ居リマスノデ、一言申上ゲテ置キマス

○子爵裏松友光君 現在預金部ニ保有シテ居ル公債ト全體ノ金額トノ割合ハドレ位ノ割合デスカ

○政府委員(松村光三君) 是ハ政府ノモノデナイデスケレドモ今御質疑ガアリマシタノデ、私ノ手許ニアリマスル、三菱ノ是ハ調査デス多少細カイ數字ハ幾ラカ違フガ、大體ニ於テ大過ナイト思ヒマス、預金部ノ國債所有高ハ昭和十二年末ハ二十二億四千八百萬、昭和十三年度末ハ三十一億七千六百萬デアリマス、ソコデソレヲ公債總額ト見合セテ率ヲ出シテ見ナケレバナラナイノデアリマスガ、若シ御急ギデシタラ直グ出シテ見マスガ………チヨット暫ク御待チテ願フテ置キマスレバ率ヲ出シテ見マス、預金部支出ト國債ノ割合デスネ

○子爵裏松友光君 後刻デ宜シウゴザイマス

○政府委員(松村光三君) ソレデハ後カラ各年度末ヲ………

○子爵裏松友光君 此ノ割合ガ、マア例ヘバ七割トカ八割位ニナルナラバ宜イデスケレドモ、五割ナリ四割位ノ程度ダト、モット多ク預金部ニ於テ公債ヲ保有スル方ガ宜イデヤナイカト、斯ウ云フ風ナコトヲ思フノデスガ、ドノ位ノ割合ニナツテ居リマスカ今存ジマセヌガ、例ヘバ七八割位ノ程度ニナツテ居リマスレバ、ソレデ宜シウゴザイマス

ガ、若シ四割トカ五割トカ云フ程度ナラバ、モット多ク之ヲ保有スル方ガ宜イデヤナカラウカ、或人ハ預金部ハ公債ヲ全部保有シテモ宜イデヤナイカト云フ、サウ云フ議論モ相當有力ダラウト思ヒマス、併シ是ハ色々ノ事情ガアツテ公債バカリヲ持ツト云フコトモドウカト思ヒマスガ、其ノ割合ヲ非常ニ多クシタ方ガ宜クハナイダラウカト、斯ウ云フヤウニ思フノデスガ、其ノ點ニ付テハドウ云フ御考デスカ

○政府委員(松村光三君) 今直グ後カラ出シマスガ、大體ノ話ノ順序デアリマス、スカラ………預金部ハ近時大局カラ見マスルト非常ニ割合ニ、貯金ノ増加シテ居ル割合カラ見マスルト國債ヲ非常ニ多ク持ツテ居ルヤウニ、チヨット見マシテモ直グ數字ガ出テ居リマス、例ヘバ昭和十二年ノ末ノ郵便貯金ナドノ全體ヲ見マシテモ、十二年、十三年ヲ見マシテモ、可ナリ多クノ國債ヲ持ツテ居リマス、又御承知ノ通り公債ヲ發行サレル總額ニモ依リマスガ、例ヘバ今年ノ一月、四億發行シマスルノデ、預金部ハ五千萬圓、毎回預金部ハ可ナリ大キイ割合ヲ預金部自身ガ持ツテ居リマシデ、更ニ先程カラ申上ゲマシタ通り是ハ非常ニ少イ金額デスケレドモ、一遍郵便局ノ窓口ヲ通シテヤッタモノ

ヲ、再ビ買上ゲルモノヲ預金部ガ引受ケル
ト云フ工合デ、公債ヲ持ツト云フコトニ付
キマシテハ、預金部ハ可ナリノ、最大ノ努
力ヲ拂ッテ居ルト考ヘラレマス、尙預金部ハ
御承知ノ通りニ近時地方債、其ノ他預金部
ニ對スル所ノ要求モ非常ニ大キイノデ、預
金部ハ其ノ公債以外ノ預金部資金ト利用ニ
付キマシテモ可ナリ苦心ヲ拂ッテ居ルヤウ
デアリマス、御説ノ通りニ預金部ガ出來得
ル限り公債ニ努力スルト云フコトハ非常ニ
必要ダト思ヘレマスルガ、尙後刻其割合等
ヲ見マシテ重ネテ御答ヲ致シタイト思ッデ
居リマス

○子爵裏松友光君 今公債ノ利率ハ三分五
厘デアリマスガ、此ノ三分五厘ト云フコト
ヲ、段々低金利ニナリマスガ、其ノ三分五
厘ヨリモ引下ゲテ、或ハ三分トカ何トカス
ルヤウナ御考ハナイノデスカ、先ヅ三分五
厘デズツト將來公債ト云フモノハヤルト云
フヤウナ大藏省ノ御考デセウカ、其ノ點ヲ
伺ヒタイ

○政府委員(松村光三君) 此ノ問題ハ、日
本ノ金利ノ基準ヲ將來ドウ云フヤウニスル
カト云フ大キナ問題ナノデスケレドモ、大
體今日ノ處政府ノ考ヘ方ハ、三分五厘ヲ公
債竝ニ日本ノ金利ノ基準ト大體大局のニ考

ヘテ居リマスノデ、日本全體ノ低金利ノ方
策ヲ合理的ニ又無理ナシニ考ヘラレルノデ
ナイカ、三分五厘ノ公債ヲ三分ナリ三分三
厘ナリ三分ナリニ引下ゲルト云フコトハ、
可ナリ各方面ニ色々面倒ナ問題ヲ起シ得ル
ト考ヘマス、若シ事情ガ許シ低金利ノ方策
ガ合理的ニ出來マスナラバ、之ヲ引下ゲル
コトハ勿論國家トシテ望マシイコトデス
ガ、先ヅ大體ニ於テ今日ノ處デハ此ノ三分
五厘ノ公債ヲ繼續シテ行クト云フコトハ、
現在ニ對處シテハ最モ妥當ナ方法ト考ヘテ
居リマス、併シ長キ將來ヲ考ヘマスナラバ、
各國共經濟界ノ進歩ニ連レテ金利ガ低金利
ノ狀態ニ向フベキコトハ當然ナノデスケレ
ドモ、併シ差當リ暫クノ間ハ此ノ基準ヲ守ッ
テ行クノガ妥當ト考ヘルノデアリマス

○子爵裏松友光君 只今政務次官ノ御話
ハ、大體是カラ三分五厘ニ一貫シテ行カウ
ト云フ御趣旨ノコトハ明カニナリマシタ
ガ、若シモ大藏省デサウ云フ風ナ御考デアッ
タトスレバ、國民一般ニ大體是カラ三分五
厘デ行クノダト云フヤウナコトヲハッキリ
シテ置イタ方ガ安心シハシマセスカ、國民
一般ハ低金利ニドシ／＼ナルト云フヤウナ
コトヲ懸念スルノデス、ソレデスカラ大體
是カラノ公債ハ此ノ邊デ行クンダト云フヤ

ウニ、國民一般モ知ッテ置イタ方ガ宜イノデ
ハナイカト思フノデスガ、其ノ點ハドウデ
スカ

○政府委員(松村光三君) 御説ノ如ク國民
ニハッキリト金利ニ付テ分ラスコトモ必要
ナコトト思ヒマスガ、併シ將來如何ナル豫
知スベカラザル問題ガ起リ得ヌトハ絕對ニ
想像シテ居リマセヌノデ、何處迄モ、……ト
言フト、又何時迄モサウカト云フヤウナ問題
ガ起ッテ參リマスノデ、只今申上ゲマシタ通
リ大體三厘五厘基準、斯ウ云フ風ニ政府ハ
考ヘテ居リマスノデス、唯民間ニ於テモ此
低金利ニ付テハ屢々問題トナリマスガ、此
ノコトヲ此ノ機會ニ申シマスガ、低金利ノ
方策ハ、ソレナラバ預金利息ヲドウスルカ、
貸付利息ヲドウスルカ云フヤウナ問題ガ
色々起ルノデスガ、是ハ今ノ處低金利ノ方
策ヲ更ニ進メマスルヨリモ、日本ノ各金融
機關ノ間ニ金利ノ差ガ少イ、例ヘバ中央銀
行ト地方銀行、又都會ノ銀行ト地方銀行、
又地方ニ於テハ殊ニ此ノ金利ハ高イカラシ
テ、地方ノ金利ヲ段々低金利ト云フヨリモ、
此ノ金利ノ不均衡ヲ漸次少カラシメルト云
フ方策ガ非常ニ必要ト考ヘマシテ、大藏省
ハ其ノ方針ニ出テ居リマスケレドモ、大體
公債ノ基準ハ、繰返シテ申シマス通り暫ク

三分五厘ヲ守ッテ行クト云フコトガ一番妥
當ト考ヘルノデアリマス、ソレカラ先程ノ
ナンデスガ、今手許ニハ十三年度ノ割合ハ
ゴザイマス、十三年度ノ割合ニ依リマス、ト
預金部ノ資金總額ガ五十八億餘圓、公債ハ
三十一億八千萬、其ノ割合ハ五割四分五厘
ニ當ッテ居リマス、ソレカラ是ハ比較スル表
ガ少シ違ヒマスガ、大體間違ナイト思ヒマ
ス、昭和十二年度ハ五十二億ノ預金部資金
合計ニ對シマシテ、公債ガ二十二億五千萬
弱デアリマスルカラ、先ヅ大局ノ國債所有
ノ割合ハ、預金部所有ノ割合ガ増加シツ、
アルト申上ゲテ間違ナイト思ッテ居リマス

○子爵裏松友光君 只今ノ政務次官ノ御話
デ大體其ノ割合ハ承知致シマシタガ、無論此
ノ決定ハ委員會デナサルコトダト思ヒマス
ケレドモ、大藏省ニ於テモ漸次其ノ割合ヲ
増加シテ段々、今五割位ノ所ヲ七割八割位
ニ段々シヨウト云フ風ナ御意嚮ハアルノデ
スカ、其ノ點ハドウデスカ

○政府委員(松村光三君) 是ハ大藏省ノ意
嚮トシテ明確ニ御答ヘ申上ゲ兼ネマスルコ
トヲ御諒承願ヒタイト思ヒマス、ト云フノ
ハ預金部ノ資金ヲ如何ニ運轉スルカト云フ
コトハ、大藏省トシテ既定ノ方針ヲ事前ニ
公ニスルト云フコトハ、預金部運用委員會

三分五厘ヲ守ッテ行クト云フコトガ一番妥
當ト考ヘルノデアリマス、ソレカラ先程ノ
ナンデスガ、今手許ニハ十三年度ノ割合ハ
ゴザイマス、十三年度ノ割合ニ依リマス、ト
預金部ノ資金總額ガ五十八億餘圓、公債ハ
三十一億八千萬、其ノ割合ハ五割四分五厘
ニ當ッテ居リマス、ソレカラ是ハ比較スル表
ガ少シ違ヒマスガ、大體間違ナイト思ヒマ
ス、昭和十二年度ハ五十二億ノ預金部資金
合計ニ對シマシテ、公債ガ二十二億五千萬
弱デアリマスルカラ、先ヅ大局ノ國債所有
ノ割合ハ、預金部所有ノ割合ガ増加シツ、
アルト申上ゲテ間違ナイト思ッテ居リマス

○子爵裏松友光君 只今ノ政務次官ノ御話
デ大體其ノ割合ハ承知致シマシタガ、無論此
ノ決定ハ委員會デナサルコトダト思ヒマス
ケレドモ、大藏省ニ於テモ漸次其ノ割合ヲ
増加シテ段々、今五割位ノ所ヲ七割八割位
ニ段々シヨウト云フ風ナ御意嚮ハアルノデ
スカ、其ノ點ハドウデスカ

ノ活躍ヲ製肘スルコトニモナリマスルノデ、
假ニ大藏省ガ希望ハ持ッテ居リマシテモ、其
ノ希望通りニ之ヲ何ト申シマスルカ、「リー
ド」ナラ宜シイノデスガ、強制スルト云フ
コトハ避ケナケレバナラスコトデアリマス
ルカラ、ソコデ今ノ點ニ付テハ、希望ハ成
ルベク國債ヲ持ッテ貰ヒタイト思ヒマスガ、
其ノ運用ノ内容ニ立到リマシテハ、是ハ預
金部ノ運用委員會其ノ他ノ當該機關ニ委セ
テ、サウシテ活躍ヲセシメタイト思ッテ居
リマス

○中村圓一郎君 チョット御伺ヒ致シマス
ガ、只今金利ノ問題ガ出マシタガ、政府委
員ノ御話ニ地方金融ノ金利ヲ引下ゲルト云
フ御話デアリマスガ、中央ガ三分三厘ト云
フコトニ各銀行ノ協定ニ成ッテ居リマスガ、
地方金融ノ金利ハ下ノ位ノ程度ニ御考ヘニ
ナッテ居リマスガ、其ノ點ヲ御差支ナケレバ
伺ヒタイト思ヒマス
○政府委員(松村光三君) 私先程申上ゲマ
シタコトガ多少誤解ヲ招イタト思ヒマスガ、
金利ヲ引下ゲルト云フ絶對ノコトヲ申上ゲ
タノデハアリマセヌ、中央ト地方、地方ニ
於テモ銀行其ノ他産業組合ノ信用組合ナリ
各、各種ノ金融機關ノ間ニ、金利ニ少シ不
均衡ガアリ過ギルヤウニ思ハレマスカラ、

出來得ル限リ此ノ金利ノ不均衡ヲ少カラシ
ムルト云フ大體ノ方針ヲ採リタイ、斯ウ云
フコトデアリマシテ、然ラバ地方ノ銀行ノ金
利ヲ何處迄ノ程度迄之ヲ低下スル、低金利ノ
方策ヲ講ズル方針カト云フコトハ、只今明
確ニ御答ヘ致シ兼ねマス、唯大體ノ方針ト
シテ不均衡ヲ少ナカラシムト云フコトノ方
策ヲ採リタイト、斯ウ云フコトガ大藏省ノ
大體ノ方針デゴザイマス

○中村圓一郎君 只今ノ御答デ大分諒解致
シマシタガ、實ハ只今大藏省ノ金利引下ノ
コトニ付テ、強硬デハナイガサウ云フ御話ガ
アリマスガ、私ノ地方ナドハ大部分三分四
厘トナッテ居リマスケレドモ、大藏省邊リデ
或場合ニハ三分三厘迄モシナケレバト云フ
ヤウナコトヲ言ハレルノデアリマスケレドモ、
東京ノ銀行ハ大銀行デ資本、信用ノ程度ガ違
ヒマス、地方銀行ハ幾分カ信用ガ劣ッテ居リ
マスカラ、是ハ二厘位差ガアッテ當然カト思ッ
テ居ルノデアリマスケレドモ、ソレモナカク、
サウ行ケヌデ、此ノ頃三分四厘ニナッタノデ
アリマス、一厘ノ差デハ少シク銀行ニ依リ
マシテハ困難ヲ感ズルノガアリマス、大分
高イ所モアリマスガ、之ヲ接近セシメテ平
均ノ水準迄ニスルト云フコトヲ思ヒマスケ
レドモ、凡ソ下ノ位ノ程度デ、地方ハ三

分五厘トカ、或地方ハ三分六厘トカ、又或
地方ハ三分四厘ト云フヤウナ、大體ノ御内
規ノヤウナモノデモアリマスレバ、伺ッテ置
ケバ便宜カト思ヒマシテ伺ッタノデアリマ
ス

○政府委員(松村光三君) 別ニマダ内規ト
明確ニ御答ヘ申上ゲルモノハアリマセヌ、
先程申上ゲマシタヤウニ極端ナル不均衡ト
申シマスルカ、餘リ金利ノ額、各銀行ノ間
ノ金利ノ幅ガアリ過ギル、殊ニ銀行以外ノ
金融機關ノ金利等ニ付テモ幅ガアリ過ギル
ヤウニ思ヒマスカラ、ソレヲ出來得ル限リ、
繰返シテ申シマスガ出來得ル限リ其ノ幅ヲ
少クスルコトニ努力シタイト云フ方針デア
リマシテ、ソレナラバト云ッテ例ヘバ各地
方、濱松ハ幾ラトカ、豊橋ハ幾ラトカ云フ
明確ナ基準ヲ今ハッキリ申上ゲ兼ねマス、其
ノ地方ノ情勢ニモ應ジナケレバナラス、又
都會ノ大銀行ガ支店等ヲ持ッテ居リマス關係
ナドモアリマシテ、此ノ地方金利ノ關係ハ
非常ニ「デリケート」デ、サナキダニ地方ノ預
金ガ都會ノ銀行ニ吸收サレル狀況モ尙少カ
ラズアリマスノデ、現ニ之ニ關シマシテハ
此ノ法案トハ違フノデスケレドモ、後カラ
恐ラク此ノ委員會ニ廻ッテ御願ヒ致シマスカ
ト思ヒマスガ、北海道拓殖銀行ノ問題ガ今

衆議院デ盛ニ論議サレテ居リマスガ、之モ
北海道拓殖銀行ト東京ノ五大銀行ノ北海道
ニ於ケル支店ト此ノ預金ヤ貸出ノ關係ナ
ドハ、矢張り今ノヤウナ現實ノ問題トシテ
色々議論ノ中心トナッテ居ルヤウナ關係モ
アリマスノデ、ドノ地方ヲドウスルカト云
フコトハ、狀況ニモ依リマスルシ、ハッキリ
申上ゲ兼ねマスルガ、大體ノ目安ハ只今申
上ゲマシタ通りニ金利ノ水準ノ幅ヲ成ルベ
ク少ク、不均衡ヲ少カラシムルト云フ方針
ニ出デタイ、此ノ大方針ダケハ申上ゲ得ル
次第デアリマス

○中村圓一郎君 諒解致シマシタ

○伯爵橋本實斐君 迂遠ナ質問ヲ致スヤウ
デアリマスガ、毎年一般會計ノ歳出ニ充ツ
ル爲ニ、世上デ所謂赤字公債ト云フモノノ
發行ノ法律案ヲ御出シニナッテ居リマスガ、
是ハ何時頃カラ……今日迄所謂赤字公債ト
シテ發行セラレテ居リマスル累計ハ伺フコ
トガ出來マスカ

○政府委員(松村光三君) 正確ヲ期スル爲
ニ後程調べマシテ御答ヘ申上ゲマス
○稻畑勝太郎君 昨日藤原サンノ御質問ノ
時ニ、公債ハ大衆ニ成ルベク持タセテ置イ
タ方ガ宜シイ、又持タセナケレバナラス、
ソレニハ一ツ鳴物入りデヤッタラドウダト

云フ御質問ガアリマシタガ、私モ至極同感デアリマス、嘗テ歐洲大戰ノ翌年ニ「アメリカ」ニ行キマシタ所ガ、尤モ「アメリカ」ト我が國トハ事情ガ違ヒマスケレドモ、殊ニ「アメリカ」ハ鳴物入りノ宣傳ノ國デアリマシテ、丁度芝居トカ、活動寫眞トカ云フヤウナ處デモ、歐洲戰爭ガ濟ンデ第五回目ノ軍事公債ヲ募集シテ居ル時デアリマシタガ、矢張り其ノ興行ノ真中デ女優ナドガ出マシテ、サウシテ今回此ノ席デ公債ニ應募シテ貰ヒタイト云フノデ、算盤ヲ持ッテ來テ、見物人カラ自分ノ都會、出生ノ國ノ名ヲ言ウテ、或ハ愛知縣、岐阜縣、鹿兒島縣、秋田縣ト云フ風ニシテ、秋田縣ガ百トカ、鹿兒島ガ五百トカ、愛知縣ガ千ダト云フヤウナ工合ニシテ應募シテ居ル、ソレニハ同時ニ負傷シタ兵隊ヲ舞臺ニ連レテ來テ、其ノ兵隊ノ腕ガ一本取ラレテ居ル……、之ニ對シテ應募シテ呉レト云フヤウナ工合デ色々ナ宣傳ヲ利用シタコトガアリマス、「アメリカ」デ、歐洲大戰デ以テ負傷シタト云フ者ハ、目下ノ我が國ノ戰爭ニ從事サレテ居ル貴重ナル犠牲者カラ比ベテ見レバ僅少ナモノデアリマスガ、米國デモサウ云フ片腕ヲ取ラレタトカナントカ云フヤウナ兵士ヲ舞臺ニ立タシテ、サウシテ大衆ノ同情ヲ引イテ公

債ノ募集ヲ致シテ居タト云フコトガ私ノ記憶ニ殘ッテ居ルノデアリマス、併シ目下日本デモ、聞ク所ニ依リマスルト軍需工業ニ從事シテ居ル従業員若シクハ勞働者ノ收入ガナカ……多イ、從ッテ百貨店ナドモソレ等ノ景氣ニ依ッテ相當ニ賣行ガ好イト云フコトデアリマスガ、同時ニサウ云フ先生方モ、或ハ芝居ニ行クトカ、活動寫眞ヲ觀ニ行クトカ、又人集リノ所ニ行クト云フヤウナコトガアリマスガ、是等ノ人々ガ浪費ヲセズニ、自然自分デ感じテ此ノ國債ニ應募スルト云フヤウナ教育、宣傳ヲ爲サレタラ如何ナモノデアラウカト私ハ感ズルノデアリマス、殊ニドウモ近頃ハ不當ナ利益、不當ト云フカ……臨時ニ入ッテ來タ利益ヲ浪費スルト云フヤウナ惧ガ目下アリハシナイカ、他ノ平和工業カラ觀レバ其ノ職工ナドハ誠ニ美望ノ的ニナッテ居ル、デ平和工業ニ從事シテ居ル職工モ重工業ニ轉業スルト、平和工業デハ經驗ノアル職工ガ重工業デハタノ人夫トカナントカヨリナラヌノデアリマス、ソレデスラ尙收入ガ多イト云フヤウナ有様デアリマスカラ、其ノ不當ノ賃銀、從來ヨリ以上ニ殖エタ所ノ賃銀ヲ何カ公債ニ向ケサスト云フコトノ宣傳ノ方法ヲ御取リニナル御考ハゴザイマセヌカ、意見ト共

ニ御質問ヲ申上ゲル次第デアリマス
○政府委員(松村光三君) 稻畑サンカラノ御質問モ、昨日來藤原サンカラモ御同様ナ御質問ガ出テ居ルノデアリマスガ、露骨ニ、率直ニ申上ゲマス、確カニ日本デハ公債ヲ頒布スルト云フ一般教育ト申シマスカ、宣傳ガ、露骨ニ云フト、マダ不備ト云フヨリモ今日迄重點ヲ置イテ居ラナカッタノデハナイカ、近時漸ク先ヅ此ノ支那事變ノ爲ニ幾ラカ……併シハ外國ニ比ベマス、到底比較ニナラヌ程幼稚ナモノデアアルコトハ事實デアリマス、單ニ國民一般ニ勤儉貯蓄、勤儉貯蓄ト總括的ナコトヲ言フコトモ必要ダガ、モット具體的ニ公債ヲ持タセルト云フ、此ノ氣持ヲ……今茲ニハッキリシタ數字ハアリマセヌガ、一般國民ノ個々ノ公債ヲ持ッテ居ル人ノ數ハ國民全體ノ總數ニ比ベマスルト極メテ僅カナモノデアアルト思ヒマス、各國ニ比較致シマスルト、其ノ點ハ非常ニ幼稚ナモノト思ハレテ居リマスノデ、個々ノ具體的ノ教育ト申シマスカ、宣傳ト申シマスカ、各國民、各工場、各種ノ殷賑産業、各種ノ方面ニモット努力シ、モット徹底シ、理解セシムル方法、工作ガ多分ニ殘ッテ居ルト考ヘラレマスルガ、ソレナラバ何故政府ハ速カニソレヲヤラヌカト云フ御叱リ

ヲ受ケマスカモ知レマセヌガ、是ハ一ツ出來得ル限り早く協議ヲ開キマシテ、サウシテ一ツ……具體化シテ、サウシテ之ヲ一方ハ教育、宣傳シ、一方ハ極端ナル強制ヲセズトモ、本當ニ理解ヲ持ッテ、各工場ヤ、各方面ニ一ツ公債頒布ノコトニ付キマシテモウ少シ努力スル必要ガアルト確信致シテ居リマスルノデ、政府ト致シマシテハ御趣旨ノコトハ能ク諮リマシテ、一ツ速カニ對策ヲ講ジタイト考ヘテ居リマス
○稻畑勝太郎君 今日ハ大藏大臣ハ御出席ニナリマセヌカ
○委員長(子爵高橋是賢君) マダ衆議院ノ方デ濟マナイサウデアリマスカラ……
○政府委員(松村光三君) 先程保留致シテ置キマシタ赤字公債ダケノ累計ハ三十一億二千七十萬圓餘デアリマス
○伯爵橋本實斐君 ソレハ何時頃カラ始ッテ居リマシタノデスカ、チヨット伺ヒマス
○政府委員(松村光三君) 今日、現在ノ累計デアリマス、ズット今迄ノ……
○伯爵橋本實斐君 此ノ赤字公債トシテ發行ノ法律ガ出マシタネ、私ハ記憶ハ致シテ居リマセヌガ、何時頃カラ出マシタノデスカ
○政府委員(松村光三君) 大體昭和七年頃

ト記憶シテ居ルノデアリマス

○伯爵橋本實斐君 私モナシデモソシナコトト思フノデアリマスガ……

○藤原銀次郎君 只今稲畑サンカラノ御話、又昨日カラノ皆サシノ御意見ニモ關聯シテ居リマスガ、大藏大臣ガオイデニナリマシタラ又改メテ大藏大臣ニモ御話ヲ申上ダ、御意見ヲ承リタイト云フ希望ヲ私モ持ッテ居リマスシ、他ノ委員ノ方モ御持ニナッテ居ルヤウデアリマスガ、ソレハ別ト致シマシテ、此ノ政府カラ頂戴致シマシタ資料ノ中デ、三善委員要求、二九ノ一、大藏省昭和十三年度中新規公債發行額及發行方法別調、此ノ第一項ノ所ニ發行額、日本銀行引受、預金部引受、郵便局賣出、斯ウ云フ工合ニ三段ニ數字ガ出テ居リマシテ、昭和十三年ノ新規公債發行額ガ四十三億圓ニ對シテ、日本銀行ノ引受ガ三十二億圓、預金部引受ガ六億五千萬圓、郵便局賣出ガ四億五千九百萬圓ト斯ウナッテ居リマス、此ノ郵便局賣出シノ四億五千九百萬圓ト云フモノハ發行額ノ四十三億ニ對シテ約一割ニナッテ居リマス、ソレデ四十三億ノ公債ヲ發行シテ郵便局カラ賣出シマス、即チ一般民衆ガ持ツモノガ四億圓デスカラ、チヨット一割デス、ドウモ一般民衆ガ公債ヲ持ツト云フコトハ如何

ニ少イカト云フコトハ是デ分ルト思フ、更ニ考ヘテ見マスト、預金部引受ノ六億五千萬圓モ一般大衆ノ貯蓄ヲ以テ政府ガ募集ニ應ズルノダカラ、是モ半バ大衆ノモノトモ見ラレマスケレドモ、兎ニ角公債ト云フモノカラ見レバ四十三億ニ對シテ四億デスカラ、約一割シカ一般民衆ガ持ッテ居ラヌノデアリマスカラ、是カラ云ッテモ稲畑サンガ今言ハレル通りニ、モウ少シ國民ニ公債ヲ持タセルト云フコトガ必要デアルト云フコトハ此ノ數字ノ上カラモ能ク分ルト思フ、ソコデドウシタナラバ一般ノ民衆ニモット公債ヲ持タセルコトガ出來ルカト云フ方法論ニナルノデアリマスガ、之ニ付テハドウシテモ今日迄ノ大藏省ノ御方針ハサウ云フ必要ガナカッタカラ、一般民衆ニソシナニ公債ヲ持タセル必要ガナカッタカラ、サウ云フコトヲ御獎勵ニナラナカッタノダト思フ、ケレドモ今日此ノ時局ニ際シテドウシテモ一般民衆ニ公債ヲ持タセル必要ガアルノダカラ、サウシテ來タノダガ、茲デ新タニ大藏省ノ御方針ガ變ッテ來テ、サウシテ民衆ニ公債ヲ持タセナクチャナラヌト斯ウナッテ來タノダト思ヒマス、是ハ私共モ雙手ヲ舉ゲテ贊成シテ、是非大藏省モ方針ヲ變ヘテ戴イテ、又我々民間ノ者モ協力シテ、サウシ

テ上下一致シテ民衆ニ公債ヲ持タセルト云フコトヲ努メナクチャナラナイト思ヒマス、又努メタイト思ヒマス、其ノ理論カラ出發シテ昨日カラ申上ダテ居ルノデスケレドモ、モウ少シ徹底的ニ此ノ問題ヲ論議シテ見タイト思フデス、之ヲ一般民衆ニ持タセルトスレバ、今稲畑サンノ仰シヤルヤウニモット民衆ニ公債ヲ持タセルト云フ方法ヲ勸誘シテ、今政務次官ノ仰シヤル教育シテ行クト云フヤウナコトモ一番必要ナ第一ノ點デアリマス、ソレカラ其ノ次ニハ何ト云ッテモ手數料ノ關係デ、斯ウ云フコトヲ獎勵シヨウト思ヘバ手數料ナドノ加減ヲシテ、サウシテ民衆ニ公債ヲ持タスト云フコトノ方ガ最モ利益デアル、少クトモ損デナイ、今日ノ民衆ニ損ヲシテモ國家ノ爲ニ御奉公シロト云フコトデアレバ、無論多少ノ損ヲシテモ國家ニ御奉公スルト思ヒマスケレドモ、併シナガラソレデヤ獎勵ニナラヌカラシテ、損ニハナラナイ、少クトモ公債ヲ持ツガ爲ニハ民衆ガ利益ニハナラヌデモ損ニハナラナイカラ、損ヲシナイデ國家ニ御奉公ガ出來ルノダカラト云フヤウナ風ニ數字ノ上ニ於テハ、ドウシテモ民衆ニ損ヲサセヌト云フヤウナ方針ヲ御決メニナルコトガ私ハ必要ダト思フ、サウシテ損ヲシナイノ

ダカラ國家ノ爲ニ御奉公ニナルノダカラ持テ、斯ウ云フ風ニ損ヲシナイデ國家ノ御奉公ニナルノダカラ持テ、ソレデモ國家ノ御奉公ノ爲ニヤルデセウケレドモ、效果ガ少イカラ、ソコデ又矢張り手數料ノ問題ニ戻リマシマスガ、手數料ナドモ其ノ意味カラ損ヲサセナイヤウニ手數料ノ決メ方ヲ御考慮ヲ願フト云フコトガ必要デアアルマイカ、斯ウ思ヒマス、モウ一ツ手數料ノ問題ニ付テ更ニ氣ガ付キマシタカラ、サッキハ申上ダナイト思ッテ居ッタデスケレドモ、氣ガ付キマシタノハ、全體郵便局デ賣出ス時ニ七錢ノ手數料ヲ取ッテ居ッテ、今度買上ゲル時ニハ郵便局ハ無手數料ニナル、斯ウ云フコトハドウモ少シヲカシイト思フデスガ、逓信省ノ方カラ言ヘバ、賣ル時ダケハ七錢貫ヘル、今度ハソレヲ買上ゲル時ハモット餘計ニ手數ハ掛ルケレドモ、ソレガ無手數料ニナッテ居ル、サウシテ國庫ガ百圓ニ付テ一圓二十錢ヲ自分ノモノニシテシマフ、ダカラ斯ウ云フ手數料ノ分配ノ仕方モ、郵便局ニ矢張り損サセヌヤウニ郵便局ガ特ニ儲ケナクテモ宜イケレドモ、郵便局ハ賣ル時ニモ口錢ニナルガ、之ヲ買上ゲル時ニモ口錢ニ幾ラカデモナラヌト、隨分面倒ナ手數ヲ掛ケルノダカラサウ云フ手數料ノ分配ナドモモウ少

シ公平ニ……公平ト云フトヲカシイガ、モ
ウ少シ何ト云ヒマスカ、賣ル時ニモ買フ時ニ
モ手數ハ掛ルカラソレニ損ヲサセヌヤウニ
シテ、郵便局ニモシタルト云フヤウナコト
ヲ、ドウモ我々カラ見ルト其ノ邊ガ少シ……
ナント申シマスカ商賣人ノ頭ニハ諒解ガ出來
ナイヤウナ組織ノヤウニ思ヒマス、或ハ又是ハ
遞信省ノ御當局カラ承リ、大藏省デモ能ク
分ルダラウト思ヒマス、一圓二十錢遞信省
ノ會計ガ收入シテ、其ノ中カラ又郵便局ニ
分配シタルト云フコトニナッテ居ルカモ知
レマセヌガ、サウスレバ矢張り公平ダト思
ヒマスケレドモ、賣ル時ダケハ手數料ヲ拂
テモ、ソレヲ買上ゲタ時ニハ手數料ヲ拂ハ
スト云フコトハチョット工合ガ悪いノデヤナ
イカト思ヒマス、サウ云フヤウナ色々ナ細
カイ事ヲ研究シテ行キマスト云フト、實行
方法トシテハ色々方法アラウカト思ヒマ
ス、ソレデ、就テハサウ云フ必要モアルシ
是ハ今後公債ヲ民衆化シテ行カウト云フノ
ニハ色々ノ手段方法ヲ以テ行カナケレバナ
リマセヌカラ、此ノ問題ノ重要ナ一ツノ問
題デアラウト思ヒマスカラ、誠ニ段々ニ細
カイ事ニナッテ大藏省ニ對シテ御手數ヲ掛ケ
ルノハ恐縮ノヤウデアリマスケレドモ、モ
ウ一ツ參考資料ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソ

レハ郵便局賣出ノ四億五千九百五十二萬九
千圓ト云フ此ノ公債ノ金額別ニ之ヲ分ケテ
戴キタイ、例ヘバ百圓券ガ何枚、十圓券ガ
何枚、千圓券ガ何枚ト云フヤウナ工合ニ是
ガ分レテ居ルカト云フコトヲ一ツ拜見シタ
イ、サウスルト先刻カラノ問題ガ是デ能ク
諒解ガ出來ル、此ノ數字ノ細別ヲ承レ、バ能
ク諒解ガ出來ヨウトモ思ヒマスガ、甚ダ御
手數デ恐縮デアリマスケレドモ、之ヲ一ツ
願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(松村光三君) 只今ノ資料ハ成
ルベク早ク整ヘマス、手數料ノ問題ハ、先
程色々御話モゴザイマシタノデ、尙十分
一ツ調査考究ヲシタイト考ヘテ居リマス、
尙此ノ機會ニ、第一ノ大衆頒布ノ問題デア
リマスルガ、先程他ノ委員ノ方々カラモ御
質疑ガアッテ、ソレニ關聯シマスノデ併セテ
申上ゲマスガ、大體ノ數字ヲ申上ゲマスト、
此ノ郵便貯金ノ増加ハ三億六千増加シマシ
テ、國債ヲ預金部ガ三億四千十二年度ニ新
タニ増加シテ居リマス、更ニ十三年度、昨
年度ニ於キマシテハ、郵便貯金並振替ノ増
加ハ約七億四千増加シテ、預金部ガ公債ヲ
持ッテ居ルコトハ十一億一千萬持ッテ居リマ
ス、即チ率直ニ申上ゲマスト、郵便貯金振
替其ノ他ニ依ッテ増加シタル資金ヲ遙カニ

超エテ、非常ニ大キナ國債ヲ預金部ハ持ッテ
居リマス、之ヲ見マスト云フト、郵便貯
金デ隨分殖エテ七億四千萬貯金ハ殖エタノ
デスケレドモ、預金部ハ更ニ十一億ノ國債
ヲ持ッテ居ル譯デゴザイマス、ソレデ藤原サ
シノ御質問ノ第一段ニ關係ヲ持ツノデスガ、
大衆ハ今郵便貯金ノ全部以上預金部ニ於テ
公債ヲ持ッテ居ル、是以上郵便貯金ヲドウシ
テ殖ヤサセルカ、又殖エタモノハ全部、大
體全部以上持ッテ居ル、ソコデ公債ヲ頒布ス
ル方法ニナルノデスガ、繰返シテ、教育、
宣傳ノ足りナイコトハ事實デアリマシテ、
政府トシテハ極力其ノ方面ニ努力シナケレ
バナラナイコトハ先程申上ゲタ通りデアリ
マスガ、是デ兎モ角ニモ國民ノ貯蓄ハ郵便
貯金、銀行預金、貯蓄預金ヲ通ジ、各種ノ
金融機關ヲ通ジテ増加シテ居リマスル狀態
ハ、後刻資料ヲ差上ゲマスルガ、兎ニモ角
ニモ斯ウ云フ風ニ増加シテ居リマスルノハ、
物ガ可ナリ國債ニ持タレテ居ルノデアリマ
ス、ソコデ宣傳、教育ヲモット徹底シタナラ
バ、郵便貯金ナドニ預ケナイ、他ノ方面ノ
大イニ浪費サレテ居ル部分ヲ、何處迄抑ヘ
ルコトガ出來ルカト云フコトハ、他方面ニ
ハ銀行預金其ノ他ノ形デアアルモノヲ何處迄
公債ニ振替得ルカト云フコトニモナリマス

カラ、各金融機關ニ分レテ居リマスル預金其
ノ他ノ形ガ公債ニ振替ハル形ニナッテ居リマ
スルカラ、此ノ教育、宣傳ノ方法ノ具體的
方法等ニ付キマシテハ、是等ノ今ノコトヲ見
合セマシテ、サウシテ全體ノ金融機構ニ非
常ニ惡影響ヲ及サナイヤウナコトモ考慮致
シマシテ、此ノ宣傳頒布ノ工作ヲ進メタイ
ト考ヘテ居リマス

○藤原銀次郎君 松村政務次官ノ御話ハ至
極御尤デアリマスガ、私モサウ云フ積リデ
今ノコトハ申上ゲテ居ルノデアリマシテ、
私ハ此處デ此ノ頂戴シタ資料ニ依ッテ、此處
デ計算シテ見タノデアリマスガ、此ノ西野
委員カラノ要求ニ依ッテ、大藏省カラ此處ニ
提出ニナリマシタ最近五箇年間金融機關貯
蓄増加額調、之ニ依リマスト云フト、昭
和十三年ハ前年度ニ比較致シマシテ、郵便
貯金、簡易保險積立、郵便年金積立、銀行
預金増額、信用組合貯金、金錢信託、保險
會社ノ準備金、無盡會社資金、斯シナモノ
ヲ合計致シマシテ、一箇年ニ四十八億圓ノ
貯蓄ノ増加ガアル、是ハ一箇年ニ四十八億
ト云フコトハ相當ナ大キナ金額デアリマシ
テ、國民ノ此ノ貯蓄ガ如何ニ旺盛デアルカ
ト云フコトガ是デ分リマスノデアリマス、
其ノ次ニ今度私ノ要求致シマシタ此ノ會社

ノ社債及銀行債發行高調、之ニ依リマシテ社債ノ發行ガ十三年度ニハ、十一億六千萬圓、借換ハ別ニ致シマシテ、ソレカラシテ更ニ私ノ要求ノ資料ニ依リマシテ、昭和十三年ニ會社ノ資本ガドノ位増加シタカト云フコトニ對シテ、此ノ資料ニ依リマス、十三年ノ十月迄ニ拂込金額ガ二十億殖エテ居ル、是ハ十月迄デアリマスカラ、十二月迄ニナリマシタナラバ、モット多クナラウト思ヒマスガ、假ニ十月迄ノ此ノ大藏省ノ調ニ基イテ考ヘテ見マシテモ、詰リ貯蓄ノ増加シタ金額ト、ソレカラ會社ノ新シク拂込致シマシタ金額トヲ合計致シマス、八十億圓ニナルノデスカラ、此ノ八十億圓ト云フモノガ増加シテ居ルノデアリマスカラ、此ノ國民ノ經濟力ト云フモノハ非常ナ旺盛ナモノデアッテ、少シモ悲觀ガ要ラナイ、我々日本國民トシテ是ハ非常ナ祝スベキコトデアッテ、非常ナ結構ナコトト思フ、デスカラ、斯ウ云フコトニ付テノ機關ハ動モスレバドンナニナッテ居ルダラウカト思ッテ、皆心配シテ居リマスケレドモ、此ノ數字ヲ拜見シテ見テ、私非常ニ喜ブノデアリマス、喜ブノデアリマスケレドモ、併シ此處デ此ノ數字ヲ見テ思フノデアリマスガ、一方

ニ於テハ大藏省ハ非常ナ資金ヲ撒布シテ居ルノデアリマス、是ダケノ貯蓄ガアツカラト云ッテ、是デ満足シテ居ルト云フ譯デハアルマイト思フノデアリマス、其ノ撒布ノ金高ガ多クナレバ多クナル程貯蓄ガ多クナラナケレバナラヌ、ソコデ今皆サンノ仰シヤルヤウニ、臨時ニ豫想外ニ收益ノ多クナツタ場合ニハ、ドウシテモ人間ノ人情トシテ浪費ニ傾キ易イモノデアアルカラ、政府ガ澤山ノ金ヲ撒布セラレルト同時ニ、國民ノ一部ニハ動モスレバ浪費ニ類似シタヤウナ行動ガ非常ニ起ッテ來テ、ソレノミカ、物價騰貴ノ原因ヲナシテ居ルノデナイコトハ明カデアリマスガ、ソレモ物價騰貴ノ一部ヲ助長シツ、アルノデハナイカト云フコトヲ一般ニ憂ヘテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスルカラ、茲ニ我々ガ、政府モ率先シテ此ノ貯蓄獎勵ト云フヤウナコトニ付テ色々御盡力ニナッテ居ルケレドモ、是モマダ徹底シテ居ナイト思フ、ソレデ國民精神總動員ナドデ政府モ色々御心配ニナッテ居ルカラ、ソレハ決シテ政府ヲ責メル譯デヤアリマセヌケレドモ、此ノ貯蓄ノ獎勵ノ方モモウ少シ徹底的ニ具體的ニ實際的ニオヤリニナルト云フコトノ必要ヲ認メテ居ル、政府モ之ヲ認メテ居リマスカラ、之ヲ問題ニ致シマ

セヌガ、同時ニサウ云フコトト併行シテ國債ヲ持タセルコトモ、國民ノ愛國心ニ訴ヘテ、モウ少シ鳴物入デ政府ガ率先シテオヤリニナルト云フコトガ必要ダト云フコトヲ痛感スルノデ、サウシテ結局ハサウ云フコトヲ致シマス、銀行預金ガ國債ニ變ツタリ、或ハ郵便貯金ガ國債ニ變ツタリ、色々變化モアリマセウガ、要スルニサウ云フ手段方法モ、一方デ資金ヲ撒布スル方ガ段々殖エルカラ、一方デ又サウ云フ資金ヲ回收スル手段ヲモット徹底的ニオヤリニナッテ、兩方相俟ツテ一般財政ノ目的ヲ達スルノニ都合ガ好クハナイカ、動モスレバ、今ノヤウナコトニシテ行クト云フト、必ズ國民生活ノ上ニモ、ソレカラ時局ノ財政計畫ノ上ニモ、色々ノ惡イ影響ヲ來シタリナンカスルコトガアルノデハナイカ、アツテカラ、サウ云フ議論ヲシテモ駄目ダカラ、アル前ニ是ハ此ノ數字ヲ見テ分ルノデスカラ、非常ニ能ク了解ガ出來ルカラ、サウ云フ場合ニ政府ガ率先シテサウ云フ方針ヲ御執リニナルト云フコトガ必要デアリマス、斯ウ云フ趣旨ヲ以テ申上ゲテ居ルノデアリマシテ、決シテ他意ガナイノデアリマスカラ、ドウゾ其ノ御積リデ御諒承願ヒタイト思ヒマス

御趣旨ヲ能ク了承致シマシテ、サウシテ大藏省其ノ他ノ各方面ト協力ヲ致シマシテ、御趣旨ニ副フヤウニ出來得ル限り具體的ノ方策ヲ講ズルコトニ努メタイト考ヘテ居リマス

○河田烈君 私チヨット今已ムヲ得ナイ所用デ中座致シマシタカラ、或ハ御質問ガアツタカモ知レマセヌガ、政府當局ニチヨット御願ヒ旁、相談スルノデスガ、此ノ藤原委員ノ御要求ノ參考書、會社債及銀行債發行高調、株式資本増加額調、其ノ他デ今丁度藤原委員ガ之ニ付テ御質問ガアリマシタノデスガ、是ハ所謂股販産業、時局産業ト言ヒマス、カ、股販産業ト言ヒマス、其ノ定義ニハ苦シムノデアリマスガ、何カサウ云フ標準ヲ設ケテ、所謂時局産業ト、ソレカラ普通平和産業ト言フノモラカシイガ、普通産業ト何カ少シ位正確ニハ行カナイ迄モ、何カ區別ヲ設ケテ、分ケテ調ベラレマセヌデセウカ、隨分無理ナ注文ト思ヒマスガ、何カサウ云フケジメガ附ケ得ルナラバ、分ケテ戴クト大變參考ニナルト思フノデスガ、參考書ノ要點ヲ御相談旁、御要求申上ゲルノデアリマス

○政府委員(松村光三君) 尙、今ノヤウナ纖維工業トカ鑛山業トカ、股販産業ト云フ

立場ハ或ハ分類ハ困難ト思ヒマスガ、從來
ヤッテ居リマス日本銀行、勸業銀行、其ノ他
ノ分類ヲ基礎ト致シマシテ、出來得ル限り
試ミテ見タイト思ヒマス、資料ヲ出來ル限
リ作成致シマス

○子爵裏松友光君 從來國民精神總動員運
動ト云フモノヲズットヤッテ居リマスガ、國
民精神總動員運動ノ中ニ公債ノ民衆化ト云
フヤウナコトヲ運動ノ一項目トシテヤッテ
居リマスカ、ドウデスカ

○政府委員(松村光三君) 只今ノ御質疑ノ
運動ノ一項目トナッテ居ルカドウカハ、ハッ
キリ御答ヘ致シ兼ねマスガ、國民精神總動
員ヲ説イテ廻リマス講師ニ依リマシテ、重
點ヲ其ノ方面ニ迄向ケル人モアルノデアリ
マスガ、唯大藏省ハ國民精神總動員ノミナ
ラズ、他ノ方面ニ於テ國民ノ貯蓄獎勵ノ趣
旨ヲ以テ昨年以來全國ニ可ナリノ宣傳普及
ニ努力致シテ居リマスガ、尙只今御答ヘ申
上ゲマシタ通りニ、足ラザル所モ可ナリア
リマスノデ、今ノヤウナ御趣旨ヲ體シマシ
テ、單ニ國民ノ貯蓄獎勵ノミナラズ、公債
ノ頒布宣傳ト云フコトモ合セマシテ、此ノ
方面ニ將來一層ノ努力ヲ圖ルヤウニ速カニ
協議ヲ進メタイト、具體化シタイト思ヒマ
ス、國民精神總動員ノ方デ一項目ニ入ッテ居

ルカドウカハ、ハッキリ御答ヘ致シ兼ねマス
○子爵裏松友光君 只今ノ御説明デ大體分
リマシタガ、先程來藤原委員並稻畑委員カラ
色々御話モアリマシタシ、此ノ際公債ノ民衆
化ト云フコトハ最モ必要ダラウト思ヒマス
カラ、國民精神總動員ノ運動ヲ爲サル中ニ
其ノ項目モ一ツ含メテ爲サルト云フコトハ
最モ適切デハナイカト思ヒマスノデ、希望
トシテ申上ゲテ置キマス

○政府委員(松村光三君) 承知致シマシ
タ、御承知ノ通り、アノ問題ノ機構モ此ノ
内閣デ多少變更サレツ、アリマスノデ、御
趣旨ノヤウナコトヲ關係方面ニ傳ヘマシテ、
御趣旨ニ副フヤウニシタイト考ヘテ居リマ
ス

○委員長(子爵高橋是賢君) 今日ハ大藏大
臣ガ午前中ハ御出席ガ出來ナイノデアリマ
シテ、是デ今日ハ打切りマシテ、明後日ノ
午前十時ニ開會スルコトニ致シマス
○稻畑勝太郎君 尙大藏大臣、商工大臣ニ
モ御出席ヲ煩ハシタイト思ヒマス

○委員長(子爵高橋是賢君) 承知致シマシ
タ、今日ハ是デ散會致シマス
午後零時三分散會
出席者左ノ如シ
委員長 子爵高橋 是賢君

副委員長 男爵深尾隆太郎君
委員

公爵島津 忠承君
侯爵筑波 藤鷹君
伯爵橋本 實斐君
子爵裏松 友光君
子爵綾小路 護君

小幡 西吉君
男爵伊江 朝助君

河田 烈君
西野 元君

若尾 璋八君
稻畑勝太郎君

中村圓一郎君
藤原銀次郎君

政府委員

大藏政務次官 松村 光三君
大藏省理財局長 相田 岩夫君
大藏書記官 松隈 秀雄君